



事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	高齢者生きがい対策事業
② 細事業名	シルバー人材センター支援事業

総合計画体系	章	03元気創造都市	節	04高齢者福祉
担当部・課	健康増進部 介護高齢課		事業開始年度	昭和57年度
根拠法令				

③ 事業内容 (手段・手法など)	定年退職後等における高齢者の労働能力を活かした臨時的・短期的な就業機会を提供し、高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の促進を目的とする公益法人であるため、その組織運営について支援を行っている。								
④ 目的 (何のために)	第4期高齢者保健福祉計画における「高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進」施策の一環として、高齢者の雇用・就労の支援								
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	65歳以上の高齢者・約28000人								
⑥ 現在の実施方法	市が直接実施 (詳細: 事業補助金交付)								
⑦ コスト	平成23年度予算	直接経費(A)の内訳							
	直接経費 (A)	35,000 千円	シルバー人材センター補助金交付要綱に基づく。人件費・管理費・家事援助費の70%						
	人件費 (B) ※ (C)+(E)	0 千円	内	担当正職員: 概算人件費 (C) (H22決算平均給与8,260千円 × 従事職員数)	千円	従事職員数 (D)	人		
			訳	臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費 (E)	千円	従事職員数 (F)	人		
総コスト (A) + (B)	35,000 千円	財源内訳 (収入)							
		国・府からの補助金等	0円	使用料・手数料	0円	一般財源(市債含む)	35,000千円	その他	0円
⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	<input type="checkbox"/> 廃止を視野に入れいている事業 <input type="checkbox"/> 類似事業や民間で実施しているサービスがある事業 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しを検討している事業 <input type="checkbox"/> 市民協働・指定管理・委託などのアウトソーシングを行う余地の比較的大きな事業 <input checked="" type="checkbox"/> 積極的に市民の意見を取り入れたい事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業								

⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	補助率について、23年度70%、24年度65%、25年度以降60%とする
⑩ 事業の現状	補助金の対象経費について、シルバー人材センターと協議を実施し、平成23年4月1日覚書を締結
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	達成
⑫ (⑪の課題の解決策と問題点)	最終論点
	<p>【解決策】 平成23年4月に締結した覚書に基づき、事業を推進していくこと。</p> <p>【論点】 シルバー人材センターは、営利を目的としない、公益法人ではあるが、国や市の補助金に頼る運営から脱却し、支援から自立に向けての方向を目指していくための市の対応が必要である。また、会員の自主運営意識(役員も含めて)の向上に取り組んでいくための指導が必要である。</p>